



【発信日】令和元年3月11日

【問合わせ先】

大野市教育委員会

文化財課 担当 佐々木、田中

電話 0779-66-1111 内線 78-576

「おおの遺産」に新たに2件を追加

～令和元年度認証書交付式を開催～

令和元年度結の故郷伝統文化「おおの遺産」に認証する伝統文化が決定いたしました。今年度は2団体に、結の故郷伝統文化認証書を交付します。

つきましては、認証書交付式を開催いたしますので、当日の取材をお願いいたします。

記

- 1 日 時 3月23日(月) 午後1時30分から
- 2 場 所 結とぴあ201・202号室
- 3 交付式次第
 - ・教育長あいさつ
 - ・認証書交付
 - ・講評(伝統文化認証審査会 門井直哉会長(福井大学教育学部教授))
 - ・各団体代表者との意見交換会
- 4 おおの遺産 第17号 穴馬紙(あなまがみ)
第18号 奥越太鼓(おくえつだいこ)
詳細は別紙のとおりです。

5 「おおの遺産」認証の目的

大野市の各地区等に伝わる伝統芸能、祭礼、風習、伝説など、次世代に継承することが必要な伝統文化を結の故郷伝統文化「おおの遺産」として認証することにより、市民共有の貴重な文化遺産として認識し、伝承や保存に対する市民の意識向上を図ります。

令和元年度 結の故郷伝統文化「おおの遺産」認証一覧

認証 番号	分野	団体・代表者名	名称	由来・特色
17	生業	穴馬紙大すきの会 会長 西 二郎	穴馬紙	<p>穴馬紙は、江戸の初めより旧穴馬村にて漉かれ、当時は年貢として納められていた。水に強く丈夫で虫が付きにくいのが特長で、障子紙や帳簿等に使われていた。冬の副業として盛んに紙漉きが行われていた。</p> <p>戦後間もなく廃れたが、旧和泉村教育委員会に在籍していた社会教育指導員が中心となって復活させ、和泉小学校児童の卒業証書作りを通して穴馬紙を伝えてきた。</p> <p>数年前に和泉公民館職員が作業を引き継ぎ、地元の有志が加わり、平成29年に「穴馬紙大すきの会」を発足。現在、30代から70代の16名の会員で活動を行っている。</p> <p>和泉に自生している楮（コウゾ）と糊空木（ノリウツギ）を原料とし、加工に薬品は一切使わず、全ての工程を手作業で行うなど、昔と同じ方法で漉いている。</p>
18	伝統芸能	奥越太鼓保存会 会長 石田 裕美	奥越太鼓	<p>荘園時代より大野の地で行われてきた太鼓は、やがて「豊年太鼓」や「雨乞い太鼓」として発展し、人々に親しまれ伝承されてきた。</p> <p>第二次世界大戦によって衰退したが、昭和36年、大野商工会議所と奥越観光連盟が中核となり、今日の『奥越太鼓保存会』の前身である『奥越曲太鼓朋友会』が結成され、幼児から成人まで多くの市民に伝統芸能を伝承し、奥越太鼓の保存・育成に努めている。</p>

(参考) これまでに認証を受けた「おおの遺産」

認証番号	認証日	分野	名 称	団体等名
1	H29.3.27	生活	七間朝市	大野市朝市出荷組合
2	H29.3.27	伝統芸能	蕨生 里神楽	里神楽実行委員会
3	H29.3.27	伝統芸能	篠座神社の里神楽・豊栄舞	篠座神社獅子舞保存会
4	H29.3.27	伝統芸能	木本領家里神楽	木本領家区
5	H29.3.27	年中行事	木本区初午だんご撒き	木本区
6	H29.3.27	年中行事	篠座神社の福もちまき	篠座神社総代会
7	H29.3.27	年中行事	篠座町の旧家が持ち回る神明講	篠座神社と篠座町（旧家23軒）
8	H29.3.27	年中行事	上大納左義長	上大納区
9	H29.3.27	年中行事	尾永見伊勢講	尾永見神社
10	H29.3.27	年中行事	鍬掛伊勢講	鍬掛伊勢講保存会
11	H29.3.27	景観	行人岩	大矢戸区
12	H30.3.22	年中行事	伊勢講	土布子区
13	H30.3.22	年中行事	下打波白山神社・中神神社の祭礼	下打波区
14	H30.3.22	伝統芸能	稲郷里神楽	稲郷青年会
15	H31.3.14	年中行事	陽明町一丁目1区の不動明王祭	陽明町一丁目1区
16	H31.3.14	年中行事	明倫町1区による乳地藏のご祈祷	明倫町1区